

舟志の森自然観察会

5月31日(土)に舟志の森自然観察会を開催しました。実際に観て、触れることで対馬の自然について詳しく知ってもらおうというイベントです。

当日は天候にも恵まれて気持ち良く散策することができました。防鹿柵の中では、指定した植物を森の中から見つけてくる植物クイズを行いました。皆さん熱心に探されており、植物を探すうちに柵の内側と外側で植生が全然違うことを実感できたと思います。自然の美しさと繊細さに気づくことは、保全の一步！今回のイベントで多くを学ぶことができました。

新職員挨拶

4月に新たに加わった職員をご紹介します！



羽部 松下 皆藤
対馬野生生物保護センター

4月1日付けで自然環境局野生生物課から異動してきました皆藤琢磨です。入省以来、ずっと野生生物の保護に関する業務に携わってきました。対馬では現在、六度目となるツシマヤマネコの総合調査の真っ最中です。皆さまに明るいニュースをお届けできるよう、努めてまいります。

上席自然保護官 皆藤 琢磨

今年度から対馬自然保護官事務所の自然保護官補佐として従事しています。幼少より生き物が好きで、この度、対馬の自然に惹かれてやってまいりました。今は生き物探しを満喫しており、新しい発見の日々にワクワクしております！

アクティブレンジャー 羽部 優衣

4月から生態系保全等専門員として着任しました松下佳祐です。主にシカの調査や対策を担当します。対馬の豊かな自然を、地域の皆様とともに守って行きたいと考えています。どうぞこれからよろしくお願ひします。

生態系保全等専門員 松下 佳祐



仲田 比嘉
ツシマヤマネコ野生順化ステーション

初めまして！北海道からやってまいりました比嘉と申します。出身は兵庫、大学は北海道、新卒で対馬と日本全国を横断するような人生を歩んでいます。対馬の自然に魅了された私ですが、その魅力を多くの方にも伝えていけるよう頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

アクティブレンジャー 比嘉 洋太

東京生まれ名古屋・静岡育ちの仲田みはすです。島暮らしは人生初めてですがツシマヤマネコを目指してやってきました。対馬での生活は刺激にあふれていてドキドキがいっぱいです。精一杯励んでまいりますのでよろしくお願い致します！

アクティブレンジャー 仲田 みはす

2025年8月15日 対馬野生生物保護センター
広報誌100号 〒817-1603 対馬市上県町佐護棹崎公園内
TEL: 0920-84-5577 E-mail: RO-TSUSHIMA@env.go.jp

とらやまの森

2025
夏号

【対馬野生生物保護センター 開館日変更のお知らせ】

対馬野生生物保護センターでは人員体制の変更に伴い、原則月曜休館に加え火曜日も休館日とさせていただきますことになりました。

2025年3月31日まで 月曜休館(祝日を除く)
2025年4月1日から 月曜・火曜休館(祝日を除く)

皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

※詳細は対馬野生生物保護センターHPのお知らせをご確認ください。

URL: <https://www.torayama-twcc.jp/topics/2025/0214.html>

TWCC HP ▼



とらやまの森100号を記念して、九州地方環境事務所長からコメントをいただきました！

環境省九州地方環境事務所 番匠 克二 所長



1998年5月1日に創刊された当センターの広報誌「とらやまの森」が今回で第100号を迎えました。

当時は、ヤマネコの現状を把握することだけで精一杯でしたが、多くの方々のご協力により、調査体制を確立し、生息頭数の把握、救護や飼育を滞りなく行うことができるようになりました。当センターは行政機関による運営で、職員の交代が多いところ、日頃変わらずのご支援を頂戴できることについて、心から感謝を申し上げます。センターや島を離れた後も、様々な分野の立場から関わり、ご支援をいただいている方がいらっしゃいます。

今、世界では生物多様性の損失を止め反転させる「ネイチャーポジティブ：自然再興」の実現に向けた機運が高まっています。環境省ではヤマネコを象徴とする対馬の豊かな自然環境を守って来られたあらゆる分野・地域の方々と連携し、さらに、ネイチャーポジティブの観点からその輪を広げて取り組みを強化し、これからも地域の発展に貢献して参ります。

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10:00～16:30(入館は16:00まで) 【休館日】月・火曜日・年末年始(祝日を除く)

TWCC HP ▶



TWCC Instagram ▶



TWCC2021





かなた 10歳のお誕生日！

対馬野生生物保護センターで飼育しているツシマヤマネコの「かなた」が今年の4月13日で10歳のお誕生日を迎えました。ネコの10歳は人間の年齢でいうと、50～60歳程でかなたも高齢になってきました。



これからもかなたをよろしくお祈りします♪

たくさんのお祝いメッセージありがとうございました！



ステーションだより ～今年度行った繁殖について～



ステーションでは今期の繁殖シーズンから、オスの「チョビ」とメスの「さすな」の繁殖に取り組みました。最初は柵越しのお見合いから始めて、「さすな」に発情が見られたら同居を行いました。「さすな」は「チョビ」を誘うような仕草を見せるものの、「チョビ」はその気がないようで、興味を示さないことが多く、残念ながら今期は交尾などの繁殖行動は見られませんでした。来期の繁殖に向けて、より良いタイミングで同居ができるよう取り組んでいきたいと考えています。

◀ 2頭の微妙な距離感(上が「さすな」、下が「チョビ」)

ヤマネコ交通事故相次いで発生！運転注意！！

今年度に入り、すでに4件のツシマヤマネコの交通事故が発生しています。統計を取り始めた平成4年からの累計交通事故発生件数は156件です。(令和7年6月30日現在) 事故の傾向として、ツシマヤマネコが活発に動く**夕方～早朝の時間帯**に事故は起こりやすく(図1)、交通量の多い**国道上**での事故が最も多いです(図2)。また、地域としては、万関橋以北では全域で事故が発生しており(図3)、特に美津島町では今年度3件の交通事故が発生しています。

近年、万関橋以南の下島でもツシマヤマネコの目撃情報が増えていることから、**島内どこでも**交通事故発生の可能性があり、運転の際は注意が必要です。

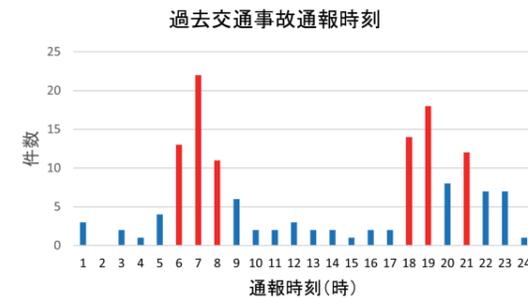


図1 過去交通事故通報時刻集計
※通報時刻記録がある145件で集計、事故当事者からの通報がほぼないため発生時刻は不明

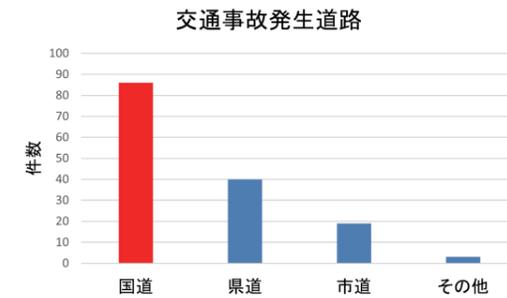


図2 過去交通事故発生道路集計
※その他：林道、農道、森林基幹道

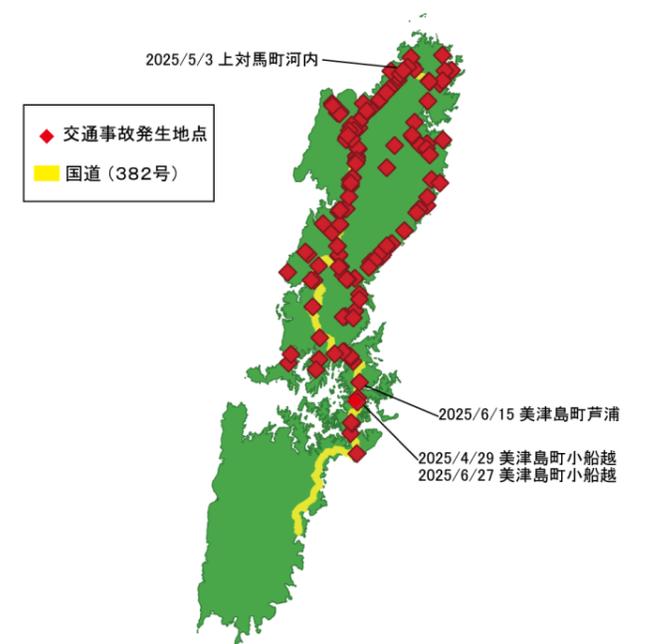


図3 過去交通事故発生地点

【第20回】対馬にいる生き物をご紹介します！



ユーラシアカワウソ

第2弾

カワウソの糞が見つかりました！

高知大学の研究グループのDNA分析によって、令和6年2月に採取された糞がユーラシアカワウソのものであることがわかりました。約5年ぶりに対馬でカワウソの生息が確認されたこととなります。研究グループは、①過去に確認されていた個体がまだ生存していた、②韓国から新たな個体が漂着した、③世代交代により新たな個体が生まれた、のいずれかの可能性があるとしています。

対馬のカワウソについては、平成29年以降少なくとも4頭が生息していることが明らかになりましたが、令和元年度以降は生息不明の状況が続いていました。

もし、カワウソの目撃情報がありましたら、**対馬野生生物保護センター(0920-84-5577)**までご連絡をお願いいたします。